



令和2年度 地方創生観光振興プロジェクト

第1回安中市DMO推進委員会

令和2年7月17日（金）書面開催



実施事業について

- (1) 令和元年度KPI結果報告について
- (2) 令和2年度KPI目標値について
- (3) 令和2年度事業計画について

地域再生計画におけるKPI（内閣府）

令和2年6月25日現在

	開始時点	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	終了時点
観光客数	増加目標	+14万人	+8万人	+8万人	-（下方修正済）	+4万人	+6万人
	138万人	152万人	160万人	168万人	140万人	144万人	
実績値	139万人	139万人	139万人	139万人	120万人		
DMO会員数	増加目標	+5件	+15件	+15件	+15件	+5件	+100件
	45件	50件	65件	80件	95件	100件	
実績値	51件	81件	84件	83件	89件		
DMOの独自収益での雇用者数	増加目標	+0名	+0名	+1名	+1名	+1名	+3名
	0名	0名	0名	1名	2名	3名	
実績値	0名	0名	2名	2名	3名		

DMOにおけるKPI（観光庁）

令和2年6月25日現在

	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度
	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標
延べ宿泊者数（千人）	230	220	95.7%	240	220	91.7%	250	204	81.6%	225	151	67.1%	270
旅行消費額（円）	5,400	4,820	89.3%	5,900	5,113	86.7%	6,400	9,100	142.2%	6,250	9,665	154.6%	6,400
来訪者満足度（点）	5	5.62	112.4%	5.05	5.13	101.6%	5.1	6.01	117.8%	5.2	5.8	111.5%	5.25
リピーター率（%）	20	74	370.0%	23	58	252.2%	28	71.6	255.7%	80	84	105.0%	80
ボランティアガイド人数（人）	30	32	106.7%	50	47	94.0%	70	56	80.0%	90	60	66.7%	110
滞在交流型プログラム数（件）	50	49	98.0%	100	100	100.0%	200	150	75.0%	250	183	73.2%	300
メディア掲載回数（回）	10	43	430.0%	15	47	313.3%	20	52	260.0%	55	59	107.3%	60



推進交付金について

令和2年度交付金予算内訳について（※随時、情勢を見ながら実施を検討）

交付金項目名	予算内訳
① 商品開発事業	1,080,000
② 物産品カタログ製作事業（物産品EC機能構築事業）	1,080,000
③ 安中市・富岡市・軽井沢町を巡るモニターツアー開催事業	2,160,000
④ 体験プログラム冊子「あんとりっぷ」制作事業	5,400,000
⑤ あんとりっぷポスター印刷事業	400,000
⑥ WEB保守管理事業	900,000
⑦ 旧信越本線トンネル調査事業	1,080,000
⑧ 地方創生推進交付金事業 効果測定事業	1,080,000
⑨ 地方創生推進交付金事業 報償費	684,000
合 計	13,864,000

① 商品開発事業 磯部温泉「恋人の聖地プロジェクト」年間更新費・絹紐新色開発



昨年度の交付金事業で2019年7月に「恋人の聖地」に認定された磯部温泉の年間更新費と碓氷製糸で作った“誓いの絹紐”の新色追加を行う。また、新色開発をした絹紐は磯部温泉内の旅館や磯部せんべい店にて代理販売を行うように体制を整える。

推進交付金について

① 商品開発事業 峠の釜めしオリジナル掛け紙作成費・廃線ウォークグッズ作成費



▲峠の釜めし
オリジナルパッケージ (2019年秋ver.)

▶オリジナルグッズ
廃線ウォークTシャツ

(1) 廃線ウォーク時のお昼ご飯としても定着している「おぎのや 峠の釜めし」に観光機構オリジナル掛け紙をかけて提供する。以前の秋verから通年使えるイラストを新規で作成。廃線ウォークをはじめ観光機構イベント時のみに提供して限定感を高める。イラストは「漫画アクション」(双葉社)に連載されている駅弁をテーマにした料理・グルメ漫画兼鉄道漫画兼紀行漫画である「駅弁ひとり旅」のはやせ淳書き下ろしとする。

(2) 廃線ウォーク関連グッズを作成し、リピーターへの継続的参加を促すと同時に、新規参加を増やす体制を整える。



② 物産品カタログ製作事業（物産品EC機能構築事業）



交付金開始時より実施している「物産品カタログ製作事業」の内容を変更。

現在、観光機構で他社サービスを使って導入している物販機能は販売する毎に販売手数料+カード決済代行手数料（9.8%）がかかるため、本事業予算であるとりっぷに「オリジナル物販機能」を追加し、今後、継続的に販売してもカード決済代行手数料（約3.2%）のみで販売できるようにすることで、本年度交付金が終了したあとでも継続的に販売することが出来る体制を整えます。

③ 安中市・富岡市・軽井沢町を巡るモニターツアー開催事業



インバウンド向けツアー・国内エージェント向けモニターツアーの2回を実施予定。

(1) インバウンド向けモニターツアー

昨年度、ANA台北支店の協力・アテンドで営業を行なった台湾AGT10社へ廃線ウォークを軸にインバウンド向けの商品造成をするためのモニターツアーを実施する。新型コロナウイルスが落ち着く2021年夏頃の復帰見込みを狙う。

(2) 国内エージェント向けモニターツアー

新型コロナウイルスにより国内旅行需要の向上の取り込みを行うため、国内エージェントを招待したモニターツアーを実施する

④ 体験プログラム冊子「あんとりっぷ」制作事業



2020年春号で企画した安中市内の麺類を扱う飲食店を対象にした「あんなか 麺ロードの旅」は自粛期間により発行数は落ちたが6月上旬時点でクーポン利用が約300枚を超える好調ぶりだった。冊子発行は今年度で最後となり、以降はウェブ版に移行するため、最終号の3月号は人気のプランを集めて次年度以降の販売を視野に入れた永久保存版とする予定。

■2020年度あんとりっぷ発行スケジュール

夏号・・・発行中止（新型コロナウイルス感染拡大により）

秋号・・・9月（予定）

冬号・・・12月（予定）

春号（永久保存版）・・・3月（予定）

⑤ あんとりっぷポスター印刷事業



(1) 昨年作成した廃線ウォークの年間スケジュールが入った「廃線ウォークカレンダー2021年 ver」を再度作成・配布し、早期予約を促進する。

(2) あんとりっぷからのご予約で首都圏近郊からのユーザーは全体の82%を占めており20代～30代の若年層世代が昨年対比の伸び率で+23.2%と顕著な数字を出している。

伸び率の高い上記の層をさらに伸ばすために「首都圏から90分“今から行く”が叶う旅」をテーマにしたポスターを作成し市内外に掲示すると同時に首都圏近郊にも掲示する場所を検討する。

⑥ WEB保守管理事業

特集
SPECIAL

【新サービス】あんとりっぷ冊子がデジタルで読めるようになりました！＜過去のバックナンバーあり＞

© 2020.05.01

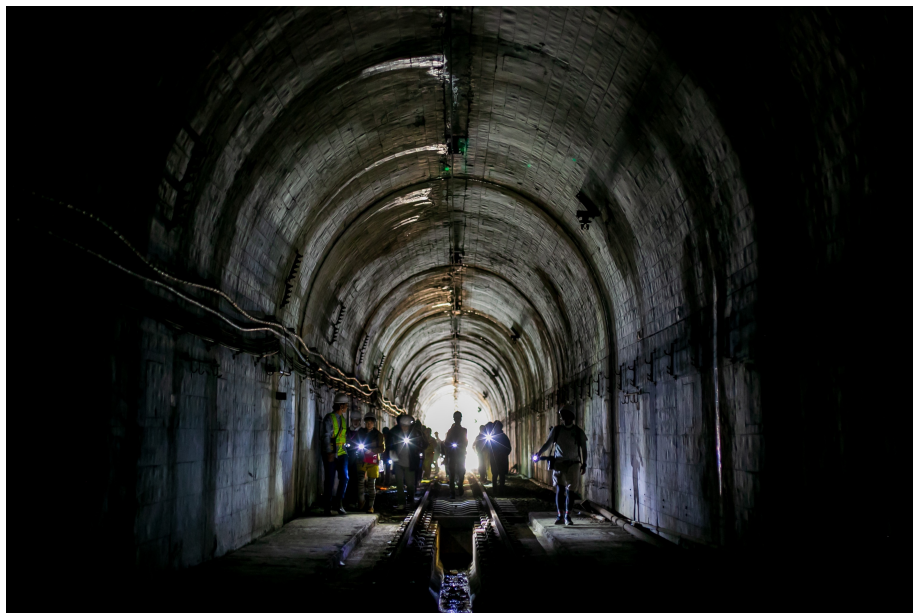
あんとりっぷ



あんとりっぷの新機能として、過去のアんとりっぷ冊子をすべて集約し、ユーザーが自由にウェブ上で紙をめくるようにして読める「デジタルブック機能」を搭載する。

そうすることで、過去のバックナンバーが自由に読めるようになると同時に、エージェントへの営業資料ツールとして活用し、ビジュアルで見やすい営業資料として活用する。また、安中市のオフィシャルパンフレットもデジタル化することとする。合わせて、あんとりっぷ・廃線ウォークサイトのサーバー管理費とする。

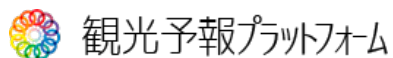
⑦ 旧信越本線トンネル調査事業



ユーザーに安心して廃線ウォークに参加いただけるように旧信越本線新線トンネルの一部調査（区間：峠の湯～旧熊ノ平駅・下り線のみ ※全体の1/4）を安中市・前橋工科大学堤研究室・アイセイ社と共同で行います。

トンネル毎に検査用スキャナ等をかけ、結果をもとに7月に本調査を実施・着手する予定。

⑧ 地方創生推進交付金事業 効果測定事業



公益社団法人日本観光振興協会



株式会社ドコモ・
インサイトマーケティング

対面アンケート調査箇所



廃線ウォーク



磯部温泉



秋間梅林



新島裏旧宅 他

(1) ビッグデータ提供2社のサービスへ継続加入
KPI達成に向けて、各事業を効率的に展開していくために観光客の動向やニーズなどをスピーディーに把握して事業に反映させていく必要がある。現状は、安中市から市内主要観光施設における観光入込客数を入手することでこれらの情報を得ているが、集計作業に時間を要するために、情報を即時的に事業へ反映させることが難しい状況になっている。このため、今年度より先の2社と連携して、最新の観光客数・宿泊客数情報や直近未来の予測値、さらに居住地別、年代別の観光客数の情報も随時確認できるサービスを導入した。

(2) 対面アンケートも同時並行で実施
安中市内の観光資源4箇所で来訪者への満足度調査・リピーター率の調査以外に、それぞれの認知度およびアクセス、利便性についても盛り込んだ上で定点調査を実施する

機構独自予算での新商品開発



復刻版HW時刻表

横川エリア活性化を目的として、交通新聞社様にご協力をいただき、1997年の復刻版時刻表を作成した。この復刻版時刻表は群馬デスティネーションキャンペーンでの、おもてなしの一環として、現地限定販売品として製作した。

「AXF×Belgard」×「安中市観光機構」洗えるクールマスク

安中市観光機構では夏に使えるマスクを「必要とするすべての人たちに安中から発信したい」という思いから「AXF×Belgard」とコラボしたダブルネームマスクの製作が実現しました。接触冷感の着けるとひんやりとして心地よいマスクです。普段の登下校や、スポーツに励む子どもから、地域を支える様々な環境で働く大人たちの熱中症予防に最適です。